

米田のFP通信



ちょっと気になる「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

新しい年を迎え穏やかにお過ごしのことと思います。2023年が皆様にとってより良い年になるようお祈り申し上げます。

今年の干支は「癸卯（みずのと・う）」です。「癸」は、種子が計ることができるほどの大きさになり、春の間近でつばみが花開く直前である、「卯」は、「冬の門が開き、飛び出る」という意味だそうです。

閉塞感が和らぎ大きく飛躍・向上する年になると良いですね。



今月号のちょっと気になるお金のコラム

昨年からいろいろなものの値段が上がっていますね。インフレ時には家計は当然ですが資産の見直しも必要になります。

健保組合半数が赤字

2022年10月にけんぽれん（健康保険組合連合会）は2021年の決算を発表しました。それによると全国に1388ある組合の53%にあたる740組合が赤字、2020年度の33%から大幅に上昇しました。

赤字増の要因の一つは、65歳以上の高齢者医療への拠出金の増加とされています。8兆4,666億円の総支出のうち、約43%が高齢者医療に使われていて現役世代には半分しか使われていません。

保険給付費	50.20%
後期高齢者支援金	23.80%
前期高齢者支援金	19.30%
事務費・事業費・その他	6.70%

さらに今後はいわゆる団塊の世代が後期高齢者になり医療費がさらに大きくなることが予想されています。

現在9.23%の保険料率が10%を超えてくると単独で維持をするよりも解散し「協会けんぽ」に加入するようになります。協会けんぽには毎年1兆円を超える税金が投入されているので解散は「けんぽれん」だけの問題にとどまりません。

今以上に保険料負担を増やすのは難しいとなると給付の見直しをせざるを得なくなるかもしれません。医療保険など、保険での備えが今以上に大切になるのではないのでしょうか？



1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、加入者の方のライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。ドクター、企業の経営者から個人まで年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。

株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店

〒543-0018大阪府天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館 3階

電話06-6766-1511 携帯090-1152-3889 メールyoneda760@rml.co.jp

ちょっと気になるお金のコラム

値上げラッシュ

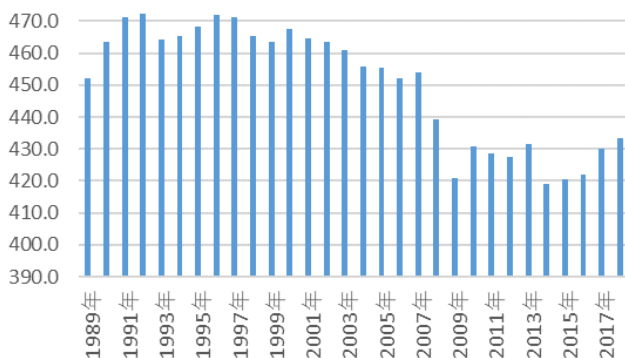
昨年から値上げラッシュが続いていますね。帝国データバンクの発表によると2022年に値上げた食品は2万品目を超え、今年もすでに4000品目を超える値上げ（予定含む）があるそうです。

食品の値上げによる家計への影響は世帯1カ月あたりで平均5730円の負担増、年間で6万8760円の負担増になります。

食品だけでなくガソリンや電気代、その他日用品など日常生活に欠かせないものも値上げになっているので実際の影響はより大きいのではないのでしょうか？

物価上昇に見合う給料の上昇があれば良いのですが日本ではこの30年、給料は上がっていません。

平均給与推移令和2年版厚生労働白書データより



家計と資産の見直しを

物価上昇時に必要なのは家計と資産の見直しです。

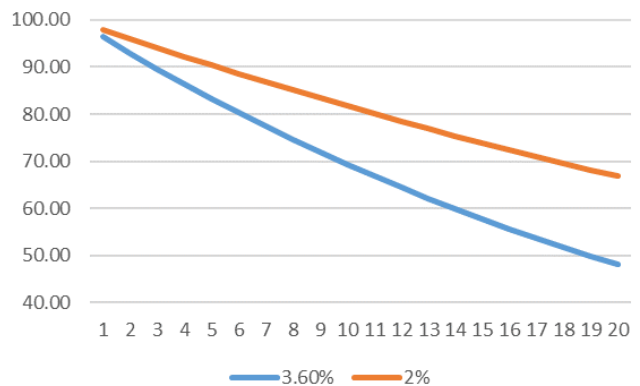
家計についてはすでに見直しをしている人も多いのではないのでしょうか？

アプリの課金などもこの機に見直しても良いかもしれませんね。また不要になったものをフリマアプリなどを利用して売却する人も殖えているようです。

長い目で見て大切なのは資産の見直しです。

去年まで10,000円で買えていたものが11,000円ないと買えなくなる、つまりお金の価値が下がっていくことになります。

昨年10月の日本のインフレ率の3.6%で計算すると今の貯金の価値は20年で約半分に、デフレ時に目標としていた2%のインフレ率でも、10年で0.81に、20年で0.66になってしまいます。



期間が長くなるほど影響が大きくなっていくことがわかります。

短期的には家計の見直しなどで対応できますが老後資金のような将来の準備については、インフレに強い金融商品を利用することも検討する必要がありますね。